

# 深谷市 農委だより

2020年3月

No.29



深谷市イメージキャラクター  
ふっかちゃん



新戒の木村優太さんファミリー  
(6面にインタビューを掲載しています)



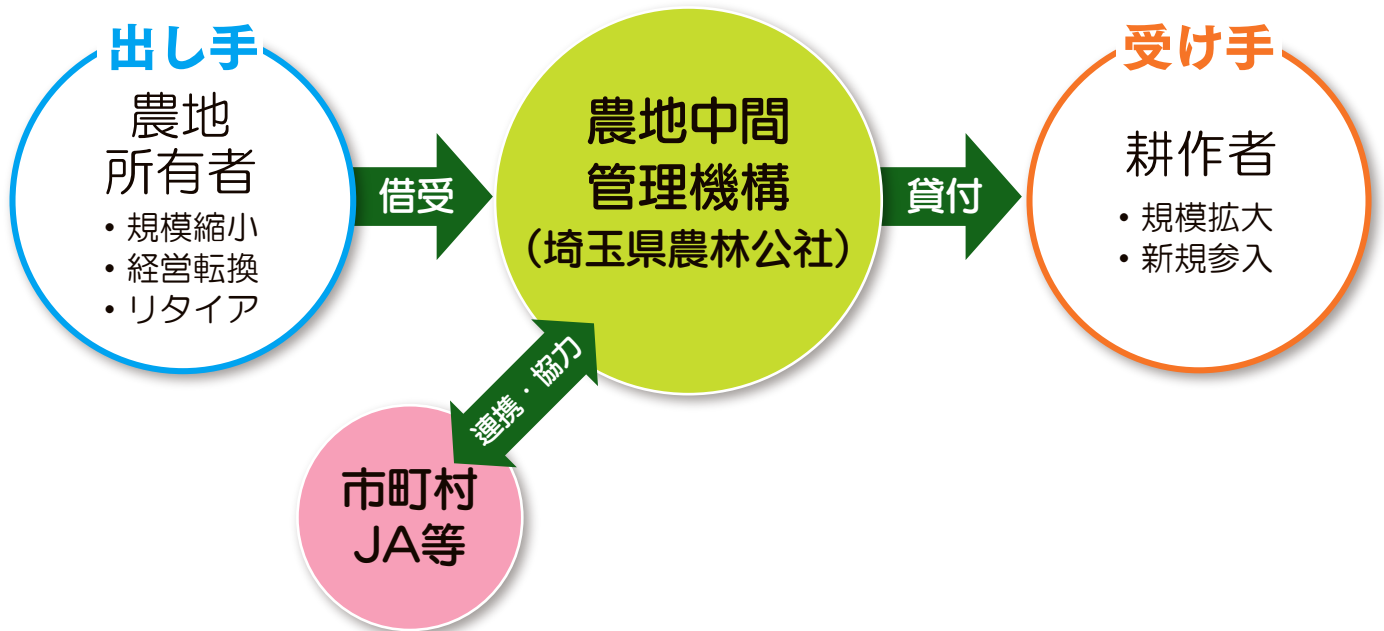
編集  
発行

## 深谷市農業委員会

事務局 〒369-0292 深谷市岡2381-1 岡部庁舎内 ☎577-3439(直通)・FAX585-3520

# 農地中間管理事業を利用しましょう

## 農地中間管理事業の仕組み



農業を取り巻く環境、とりわけ担い手の高齢化や国内外で競争が激化するなかで、農地集積・集約化を実現する仕組みとして、農地貸借の中間受け皿となる農地中間管理事業を実施しています。

この事業は、農地中間管理機構が出し手(農地所有者)から借り受けた農地を受け手(耕作者)に貸し付け(転貸)を行う事業です。

出し手・受け手が受けられるメリットとして次のものがあります。

### 出し手のメリット

- ・契約に基づいた賃料が確実に入る。
- ・「今貸している受け手から返されたらどうしよう」という不安から解消される。
- ・契約期間満了後には農地が確実に戻ってくる。
- ・相続があっても次の世代が困らない。

### 受け手のメリット

- ・農地が集めやすくなる。
- ・農地が集約化(団地化)しやすくなり、労力・コスト軽減につながる。
- ・契約更新時の手続きや賃料支払いなどは農地中間管理機構が行うので事務が軽減できる。

深谷市ではこれまで9地区で事業を実施し、約157haの農地の集積・集約を行いました。

事業に関する疑問・実施要望等は下記のお問合せ先までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】 深谷市農業振興課 ☎048-577-3298

## 『令和元年度遊休農地調査』の結果について

農業委員会では、令和元年8月～9月にかけて市内全域の農地を調査しました。

この調査により、2046筆、約172ヘクタールの遊休農地が確認されました。

各地区ごとの遊休農地の状況は、次のとおりです。

深谷・大寄地区	14.1 ha
藤沢地区	30.7 ha
幡羅・明戸地区	14.8 ha
豊里地区	13.7 ha
岡部地区	32.7 ha
川本地区	43.9 ha
花園地区	22.4 ha
市内合計	172.3 ha

担い手の高齢化、農家戸数の減少や相続などによる農地所有者が遠隔地に住むことなどにより、遊休農地が増加傾向にあります。

耕作されなくなった農地は、雑草等の繁殖や病害虫の発生により周辺農地に悪影響を及ぼすばかりでなく、ゴミ等を投棄されたり、枯草が火災の発生源となったり、隣接する道路を狭めて通行の障害になるなど、

環境防災・交通安全において、配慮が必要となります。

雑草等繁殖している農地を、耕作できる状態に戻すためには、多くの時間と費用が必要となります。農業委員会では、遊休農地の解消のために、利用状況調査・利用意向調査や、雑草等の解消のために通知等で依頼しておりますので、引き続き農地の管理をお願いします。

なお、農地が遠隔地である、相続したが耕作できない、または、高齢により管理ができないなどの理由でお困りの方は、貸借等のあっせんをしておりますので、農業委員会事務局までご相談ください。

●問い合わせ

農業委員会事務局

☎577・3439



## 大里農業委員会連絡協議会 研修会に参加しました

大里農業委員会連絡協議会主催の研修会が熊谷市内にある「マロウドイン熊谷」で開催されました。深谷市・熊谷市・寄居町の農業委員・農地利用最適化推進委員及び事務局職員が参加し、講師の全国農業会議所専門相談員である澤畑佳夫氏による「みんなが納得！地域の話し合いの進め方」の内容で研修しました。

人・農地プランをはじめとした地域での座談会における進行の仕方、合意形成の手法やアンケートの取り方などを、経験等も含めてわかりやすく講演していただきました。



女性の農業従事者のみなさん

# 農業者年金に加入して安心な老後を



女性の農業従事者の皆さん、農業経営から引退された後の暮らしの収入についてはどのように考えていらっしゃいますか。引退後の生活費については夫婦お二人で月23万円程度かかるとのデータもあります。国民年金だけでは不足するケースが多いといわれています。

農業者年金は、経営主の方だけでなく、女性や青年の方で農業に従事されている方なら、一定の条件を満たせば、どなたでも加入することができます。

ご夫婦で農業者年金に加入して安定した老後を送りましょう。

## 農業者年金に夫のみ加入した場合と夫婦で加入した場合の比較

※夫と妻が同年齢で、農業者年金へは30歳で加入し保険料月額2万円。死亡率の改善を見込んだ平均余命(男性87歳、女性92歳)まで生存した場合。

	65歳～87歳までの年金額(月額)	88歳～92歳までの年金額(月額)
夫のみ農業者年金加入の場合	国民年金 夫6万5千円 妻6万5千円 農業者年金 夫4万2千円 計17万2千円	国民年金 妻6万5千円 農業者年金 なし 計6万5千円
夫婦で農業者年金加入の場合	国民年金 夫6万5千円 妻6万5千円 農業者年金 夫4万2千円 妻3万6千円 計20万8千円	国民年金 妻6万5千円 農業者年金 妻3万6千円 計10万1千円

※年金額は運用の状況によって変化する可能性があります。

### 加入要件は下記の3つです。

- ①20歳以上60歳未満の方(男女問いません)
- ②国民年金の第1号被保険者(ただし保険料納付免除者ではないこと)
- ③年間60日以上農業に従事する方

※農業者年金に加入する際は、国民年金の付加年金にも加入する必要があります。手続きは市役所、各総合支所で行えます。



### 農業者年金の特徴は

- ①終身年金ですので、長い老後をしっかりサポートします。また加入者が80歳に達する前に死亡した場合の死亡一時金の制度もあります。
- ②支払った保険料は、全額が確定申告や住民税申告の社会保険料控除の対象となり、所得税や住民税の税額の節約につながります。また事務手数料は全額国が負担しています。
- ③保険料は月2万円～6万7千円までで、ご自分の生活状況に合わせて自由に決めることができます。

「制度について知りたい」、「加入を考えているので資料が欲しい」とお考えの方はお近くの農協の本支店、または農業委員会事務局までお問い合わせください。

農業委員会事務局 ☎577-3439

## 埼玉県知事表彰を受賞

深谷市農業委員会委員の塚越石夫氏が令和元年11月14日(木)に行われた県民の日記念式典において、埼玉県知事表彰(産業功労)を受賞されました。



旧深谷市のころから通算して16年の長きにわたり農業委員としてご尽力され、その間に農業委員会会長を務めるなど、深谷市農業の振興に大きく貢献したことによる功績が認められ、今回の受賞となりました。

## 木質チップの利用について

最近、市内において、土壌改良等と称して、木質チップ(木くずなどを破砕したもの)を農地に投入する事例がみられます。

### 1 農地にチップを堆積させない

チップを別の農地で施用するために堆積することは、農地を耕作以外の目的で使用することになるため、農地法に抵触するおそれがあります。

### 2 施用する場合の留意事項

もし、土壌改良等でチップを使う場合は

①施用したまま放置すると、隣接農地へのチップの流出や、黒い水が流れ出す恐れがありますので速やかに耕うんしてください。

②施用したチップから病害虫が発生した場合、速やかに駆除してください。

### 3 施用前に原材料・成分の確認を

チップの材料に、建築廃材や防腐処理がされている木材を原料としている場合があります。これを施用すると、作物の生育阻害や、病害虫の発生、悪臭、水質汚濁など周囲の環境に悪影響を及ぼす場合があります。

原材料に有害物質が含まれていないことを確認してから施用してください。

### 4 購入の際は書面で契約を結ぶ

チップを購入する際に、法外な代金の請求、不法投棄をされる可能性があります。取引条件を明確にした契約を書面で結んでください。

このほか、チップの施用について確認したいことがありましたら、農業委員会事務局までお問い合わせください。

### ●お問い合わせ 農業委員会事務局

☎5777・3439

## 砂ぼこり対策のご協力について

冬から春先の農閑期にかけては、強風により農地からの砂ぼこりが発生しやすい時期です。風により優良土壌が飛散し、風下の地域へ悪影響を及ぼします。次のような対策で優良土壌の飛散を抑えることができます。

● 中低木・防風ネット、竜のひげの植栽

● 耕運作業を作付け間近まで控える

● 畑かん等で散水し農地の湿潤化を図る

● 緑肥作物(エン麦、ライ麦)の播種

※市では防風ネットの設置補助を行っています。ご協力頂ける方は農業振興課までお問い合わせください。尚、農地の場所等により設置できない場合があります。

### ●お問い合わせ 農業振興課

☎5777・3298



強風による砂ぼこりの様子

シリーズ 新規就農

「夢のある農業を目指して」

新戒 木村 優太さん(27才)

このコーナーでは、深谷市の明日の農業を担う新規就農者を紹介しています。

シリーズ第24回は、深谷豊里地区の新戒で平成29年から就農された、木村優太さんにお話を伺いました。

**Q** これまでの経歴や、農業を始めたきっかけは何ですか？

**A** 生まれは京都市です。サッカーの推薦で埼玉に来ました。卒業後、就職して2年間働き、結婚を機に、家族との時間を持つるように、妻の故郷で農業を始めました。それまで農業経験は全くなく、ゼロからスタートし、3年経ちました。

**Q** 現在主に何を生産していますか？

**A** ネギを約5反、ハウスキュウリ約1反を年に2回栽培しています。

**Q** 農業を始めて感じたことや、大変なことはありますか？

**A** 農業は、肉体労働で大変だと言われていますが、自分はサッカーで鍛えていたためか、まったく大変と感じることはなく、やり始めて楽しく感じました。また、深谷市は全国的にも暑いと言われており、自分が、自分の生まれ育った京都市も、夏は暑く、冬は寒い土地柄なので、まったく気になりませんでした。

**Q** 農業をしていて良かったことはありますか？

**A** やはり家族との時間が持てることです。以前の職場では残業が多かったので、家族との時間はなかなか取れなかったと思います。また、収穫した野菜を実家に送ると、おいしいと喜んでくれるのがうれしいです。

**Q** 休みの日は、何をしていますか？

**A** 今は、趣味のようなものはなく、家族と過ごす時間が一番大切です。長期休暇は取りにくいので、近場での買い物や公園などに行っています。また、年に2回、実家のある京都に家族で帰っています。

**Q** 将来の夢は何ですか？

**A** 経営面積は、現状を維持していきたいと思いますが、時代に合った農機具や販売方法などで販路の拡大をしていきたいと考えています。

**Q** これから新規就農する方に一言！

**A** 農業経営に正解はないと思います。経験を積み重ねて、自分で考えて経営していくことが大事だと思います。自然災害等に悔しいこともあります。とても夢のある職業だと思つて日々精進しています。



編集後記

今回の農委だよりでは遊休農地調査について掲載しました。深谷市でも耕作されなくなった農地が増えてきており、雑草繁茂や農業生産力の低下といった問題が起きています。

農業委員会では今後も調査を行うとともに、所有者と耕作者の間を取り持つ活動を進め、遊休農地の有効活用を図っていきます。

蛭川 登農地利用最適化推進委員が2月8日に永眠されました。蛭川様は平成27年7月から農業委員を1期務め、平成30年7月からは、農地利用最適化推進委員を務めておりました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

農委だより編集委員会

- 委員長 大澤 慶三
- 委員 井田 貢 須藤 和彦
- 澁澤 隆之 根岸 邦次
- 柴崎 立志

NATIONAL AGRICULTURAL NEWS

# 全国農業新聞

週刊  
金曜日発行  
月700円  
お申し込みは農業委員会へ